

[担当教員]

近藤民代 (准教授) 浅井保 (助教) 西野智研 (助教)

[Teaching Assistant (修士1年)]

本条礼香 (A61) 森 崇裕 (A61) 山本純平 (A61)

課題1-1 RC造平面図コピー: 3号館8階平面図 (部分) のコピー

課題1-2 RC造断面図コピー: 3号館中央部分の断面図コピー

課題1-3 RC造立面図コピー: 3号館南側立面図のコピー

■提出物

課題1 A2 ケント紙1枚。1/100。鉛筆仕上げ。

課題2,3 A1 ケント紙1枚。1/100。鉛筆仕上げ。



【建築設計のためのスタディ・スキル】

製図法の習得をふまえ、具体的な建築や都市の空間をデザインするためには、多様な方法でのスタディが不可欠となる。すぐれた作品ほど、無数のそして多数のスタディをへて、創出されている。

ここで学ぶ様々なスタディのスキルを自身のものとし、豊かな空間を創出するための一歩を踏み出してほしい。

■外構図・配置図:

外部空間も設計の重要な対象となる。

配置図は建築・敷地・都市・地域との関係を示している。

(1) 著名な建築作品の外構図面をトレースし、その表現方法の取得。

(2) 工学部教室棟東側の外部空間のデザインと図面化。

■アクソノメトリック:

建物全体を俯瞰的に把握するスキルの一つである。

課題2-1で各自がデザインした工学部教室棟東側の外部空間を描くことで、自らのデザインをチェックする。

■2消点スケッチ:

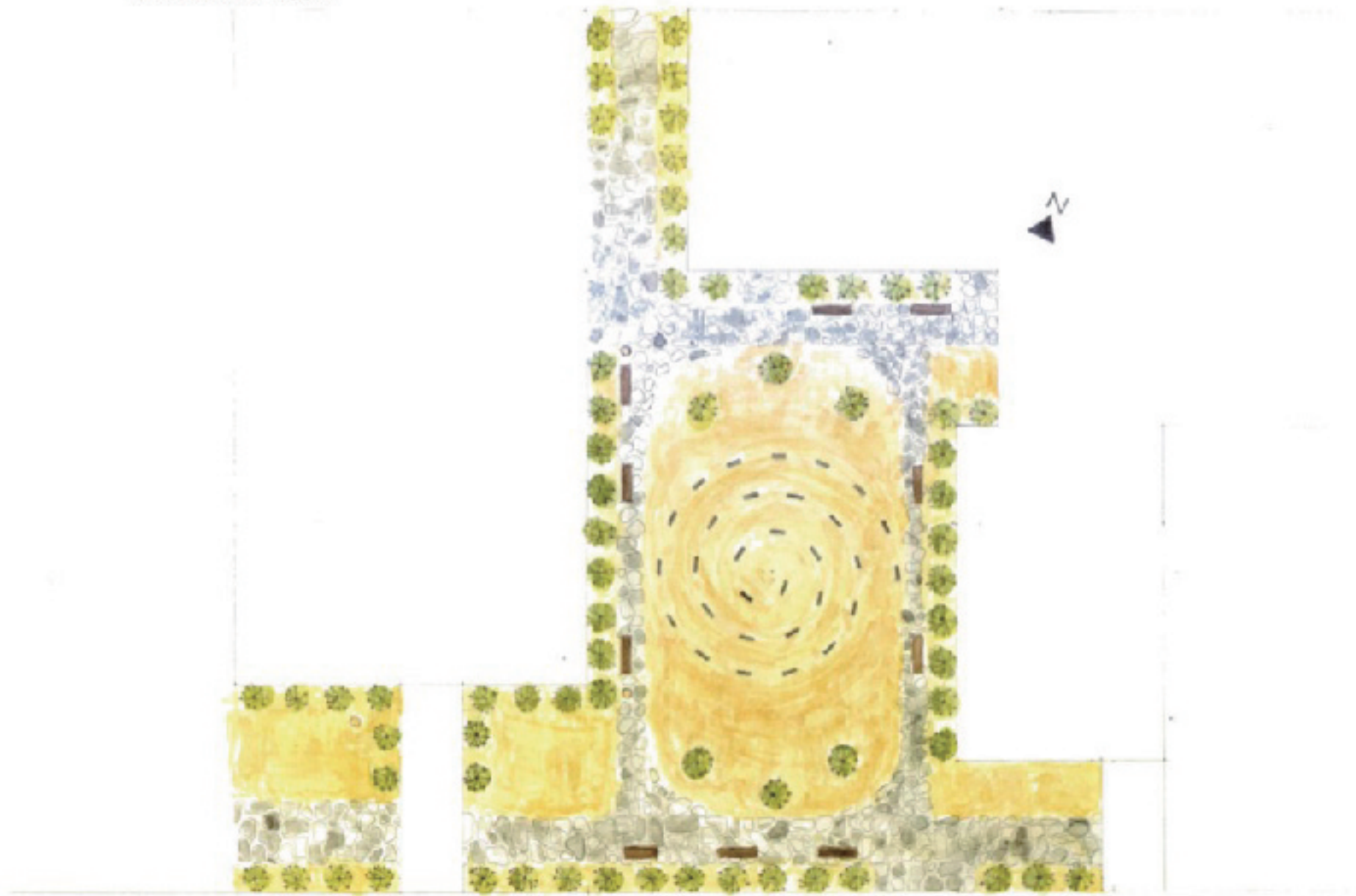
建物の外観とその周辺にある外部空間を把握するスキルの一つである。

課題2-2同様、各自がデザインした工学部教室棟東側の外部空間のスケッチを描くことで、自らのデザインをチェックする。

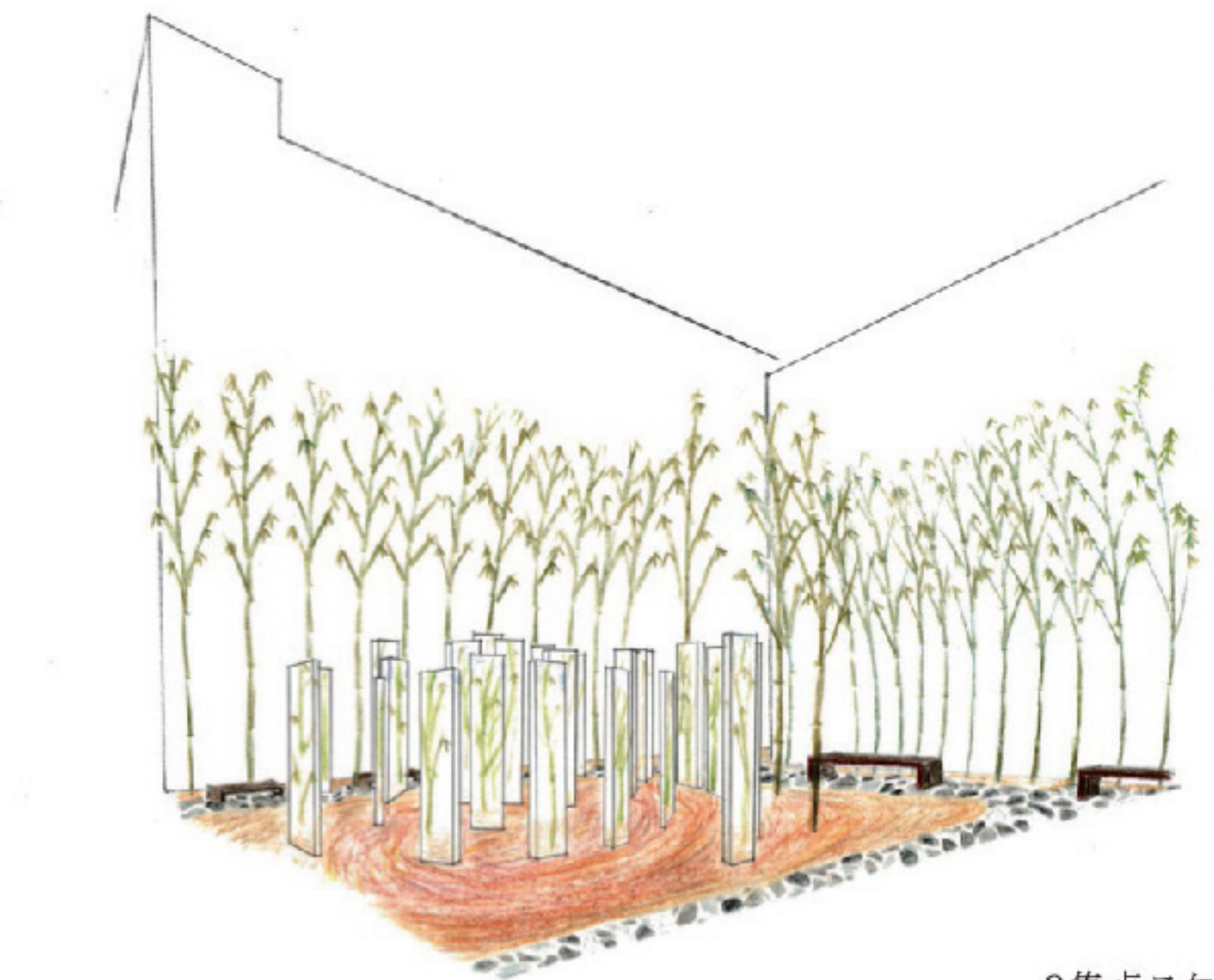
■提出物: A3 版カラーコピー、縮尺 1/200。作図は鉛筆で描き、着彩。



後藤沙羅



配置図

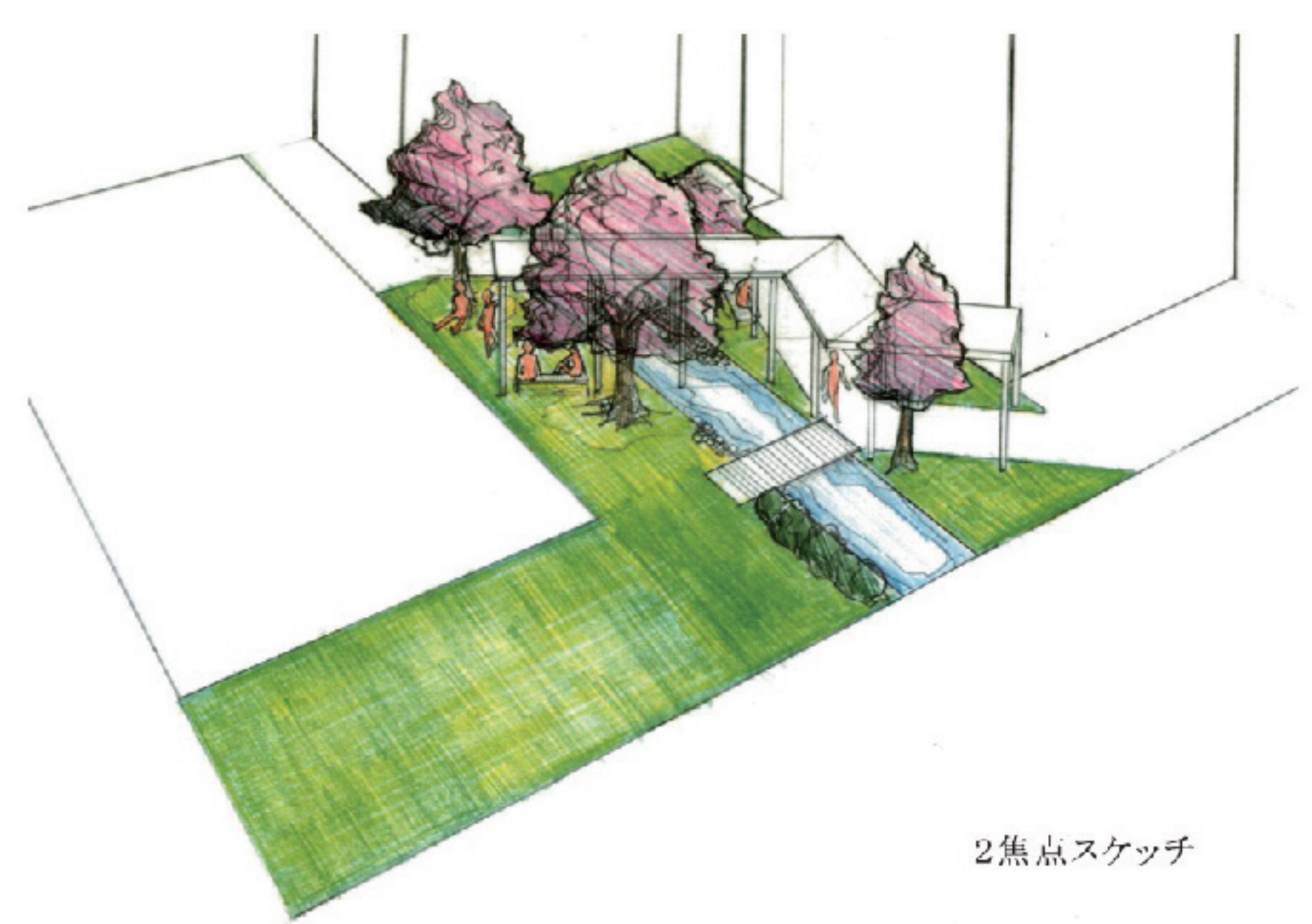


2焦点スケッチ

浜崎遥

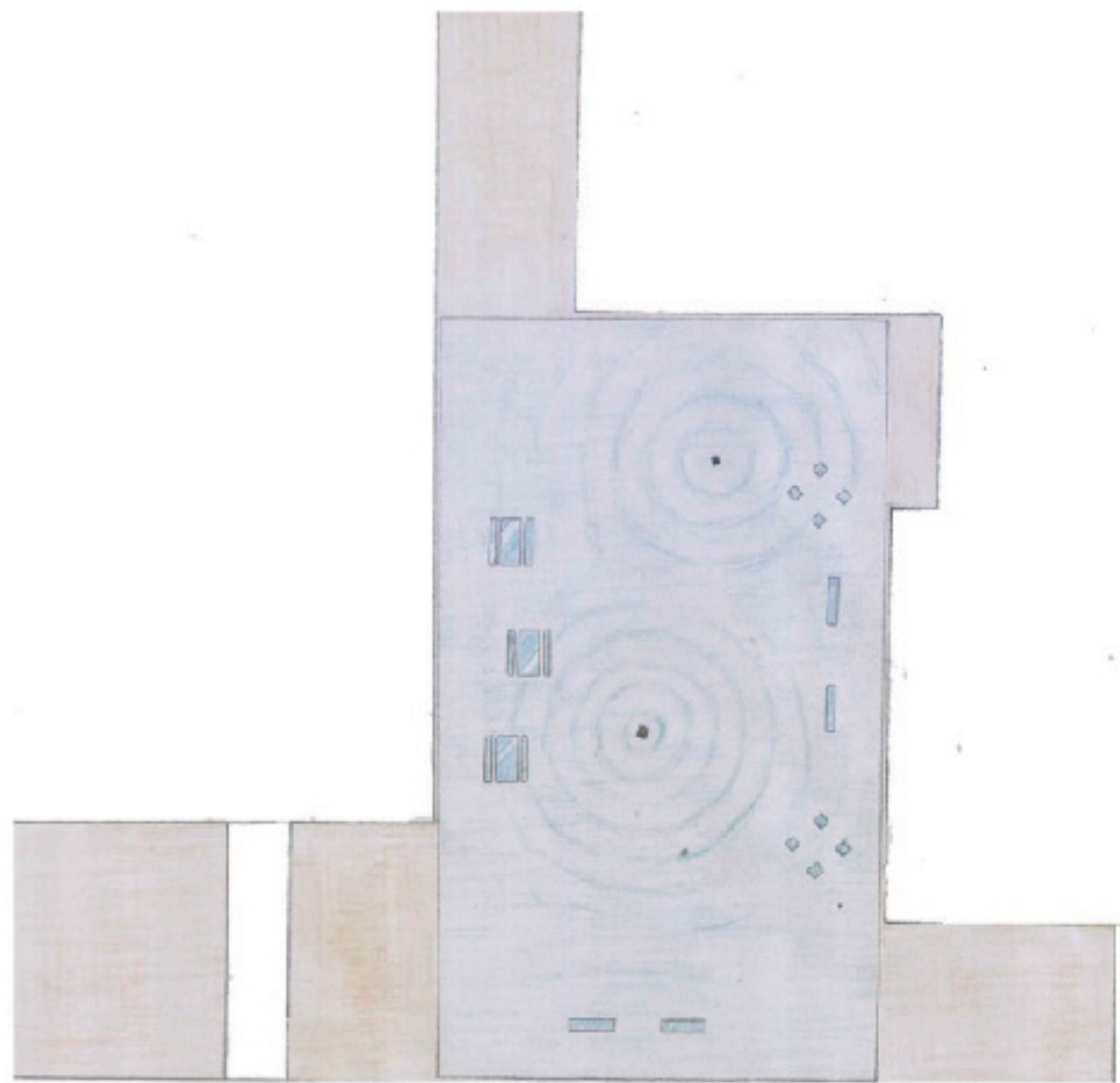


配置図



2焦点スケッチ

伏見公輔

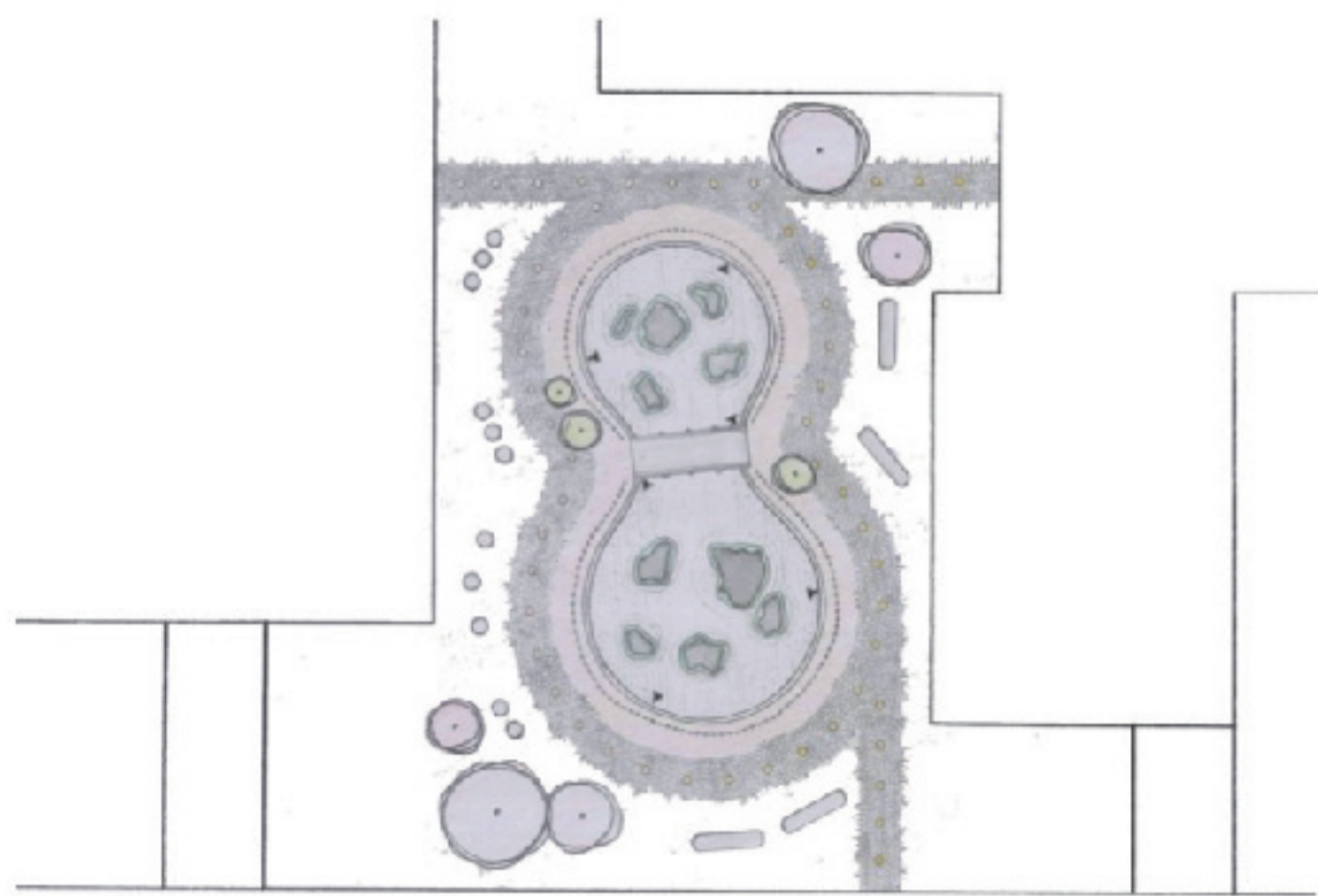


配置図

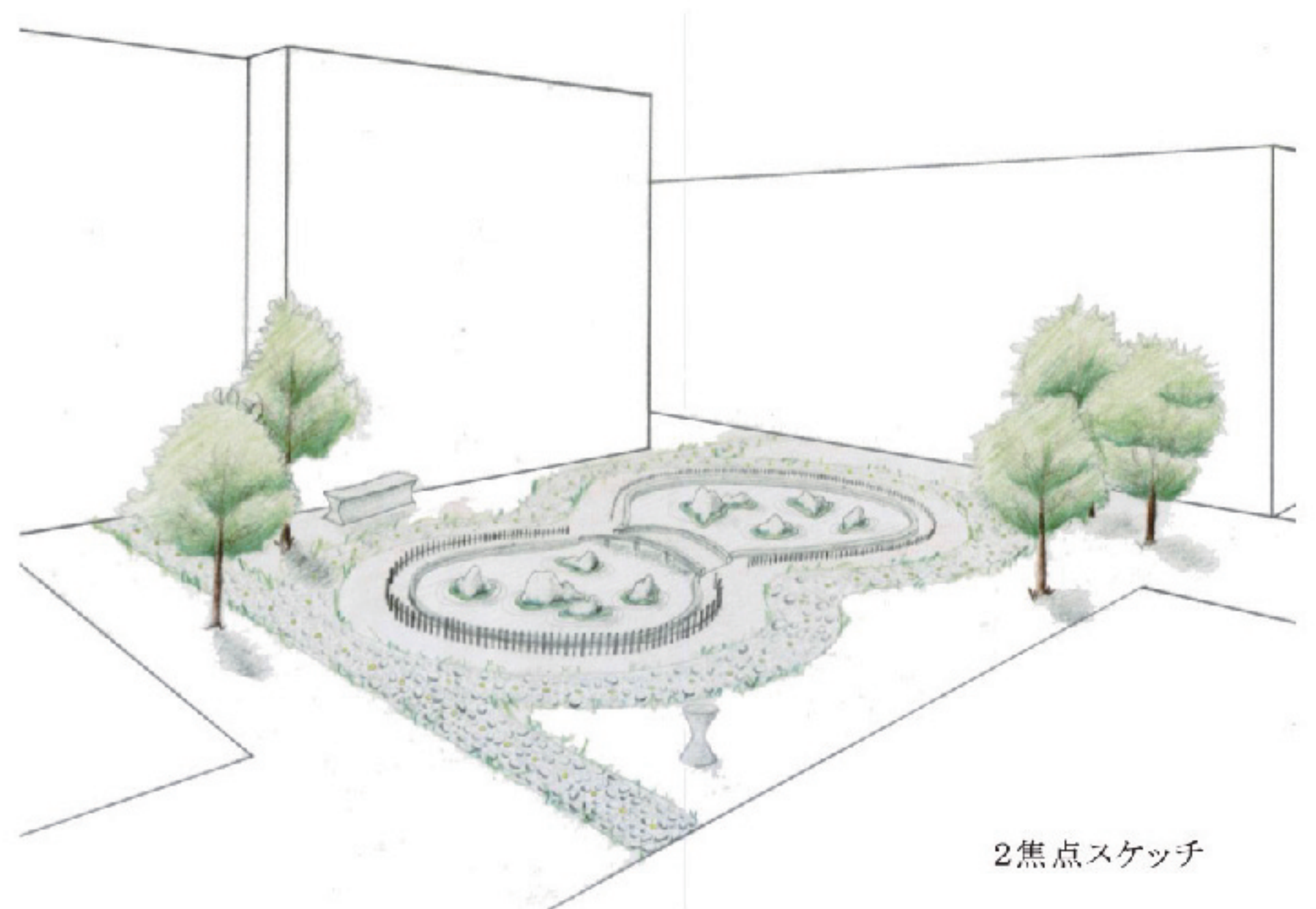


2焦点スケッチ

岡野さくら



配置図



2焦点スケッチ

[担当教員]

山崎寿一（教授）近藤民代（准教授）西野智研（助教）

島田陽（島田陽建築設計事務所）、山隈直人（kt 一級建築士事務所）

[Teaching Assistant(修士1年)]

本条礼香（A61）横山泰（A61）西田翔（A61）

【住宅課題1：住宅設計図コピー】

タイトル 軽井沢の山荘 設計：吉村順三 1962 年

全体のレイアウト、レタリングなどは総意工夫すること

■提出物・用紙

(1) 所用図面（タイトル レタリング）

①矩計図1：50 ②配置図1：200 ③2階平面図1：50

(2) 用紙：A2 版ケント紙（鉛筆仕上げ）

